

2007.10.31 晴れ 廃村八丁 Tさんとふたり



ホトケ谷。谷道・尾根道分岐

845 菅原 853 林道 (お墓地点)  
947 谷道—ダンノ峠 1019 四郎  
五郎分岐 (同志社研究室) —四郎  
五郎谷 1125—1207 廃村八丁  
(昼食) 1226 刑部谷分岐—刑  
部谷 1252 奈良谷分岐 (刑部滝)  
1315 四郎五郎分岐 1340 ダンノ  
峠 1413 林道 (お墓地点)



同志社研究室近辺・サルの腰掛

久しぶりにTさんとの山行。品  
谷山には行かず、廃村八丁の往  
復。ホトケ谷を行くとまず、谷  
道と尾根道の分岐。帰りは尾根  
道として、しんどいとある沢道  
を選択。大したことはない。順  
調に合流点の杉林に着く。



右がサルの腰掛の木、中央奥くらいに四郎五郎分岐



これが分かりにくい分岐標識

ダンノ峠で一休みして、桂谷を四郎五郎の分岐までゆったりとしたコースを進む。同志社  
の研究室のあたりにサルの腰掛、四郎五郎谷と刑部谷との分岐があるが、わかりにくい。



廃村八丁の標識とトタン小屋

行きはこの分岐を見逃して、四郎五郎谷に入る。キレイな水でいい雰囲気谷であった。刑部谷と合流し、廃村八丁に。いたるところに石垣があり、ここに村落があったことが偲ばれる。スモモ谷の分岐も確認して、八丁温泉に。



八幡宮



八丁温泉と掲示のある一軒屋と主



左が小さい滝、右が大きな刑部滝（この高巻き道で直登コースに）

この温泉は釜があり、セルフの温泉。ここの主がたまたま居て、昼食を取りながらしばし雑談。ヒルが多いという話など。特にソトバ峠へのババ谷は相当な名所とのこと。

帰りは刑部谷の滝を観賞後、滝を避けるため、奈良谷を少し進んでから尾根越えて四郎五郎の分岐に行くべきだったのに、奈良谷の分岐部よりテープにつられて、直登。とんでもない道であえいでしまった。

ダンノ峠からは尾根道で林道に。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

GPSのデータは四郎五郎谷部分がほとんどロスト、狭い谷ゆえ、しかたがないですね。

トップページは<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。